

3 地域公共交通の現状・課題

3.1 地域概況と人口分布

(1) 都市計画区域と市街化区域

- 市域面積 (88,647ha) のうち、都市計画区域の面積は 44,570ha で市域面積の 50.3%、都市計画区域外の面積は 44,077ha で市域面積の 49.7%となっています。
- 都市計画区域のうち、市街化区域は 5,230ha で市域面積の 5.9%、市街化調整区域は 39,340ha で市域面積の 44.4%です。

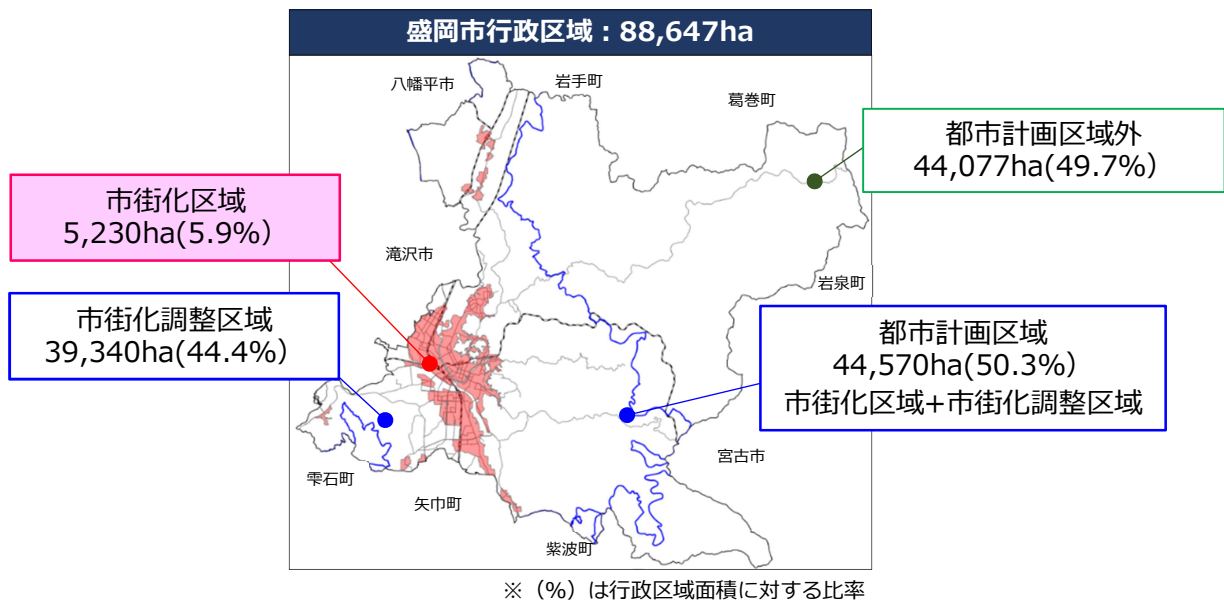


図 3-1 行政区域・都市計画区域などの面積

(2) DID 地区

- 市の DID 地区※の人口及び面積は増加を続けており、2015 年（平成 27 年）では DID 地区人口は約 237 千人、面積は 4,194ha です。
- 一方で DID 地区の人口密度は年々減少傾向にあり、2015 年（平成 27 年）では 1975 年（昭和 50 年）に比較して 13.7%減少し 56.6 人/ha となっています。

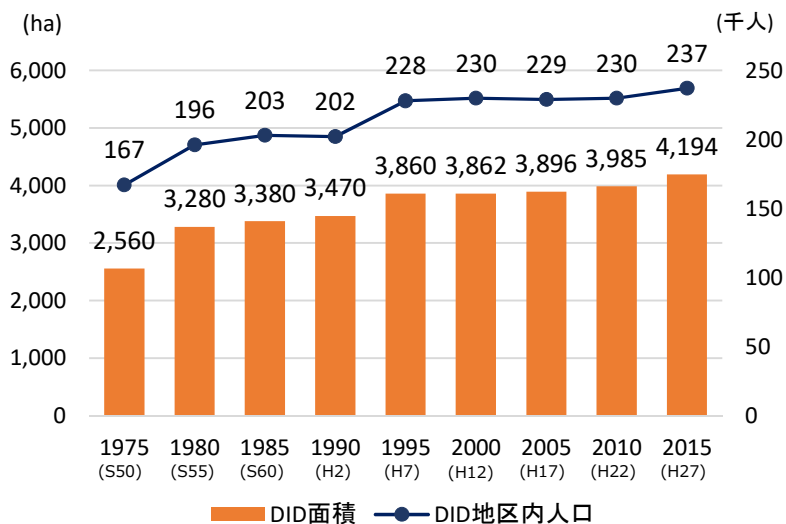


図 3-2 DID 地区の人口・面積の推移

出典：国勢調査

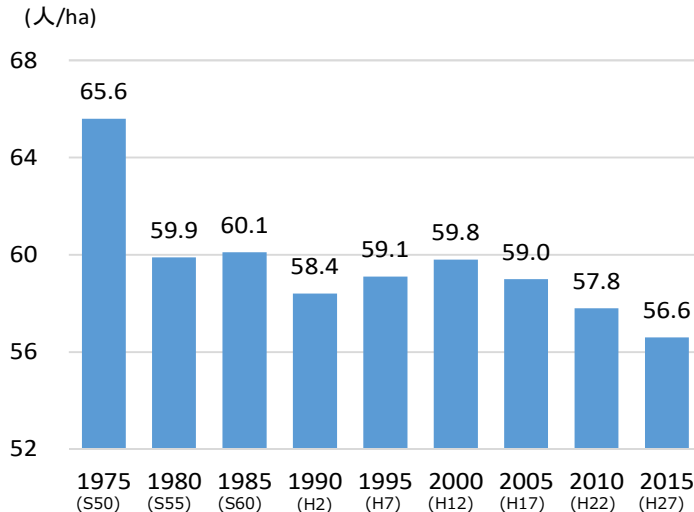


図 3-3 DID 地区の人口密度の推移

出典：国勢調査

※DID 地区（人口集中地区）とは、国勢調査基本単位区及び基本単位区内に複数の調査区がある場合は調査区（以下「基本単位区等」という。）を基礎単位として、1) 原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接して、2) それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域。

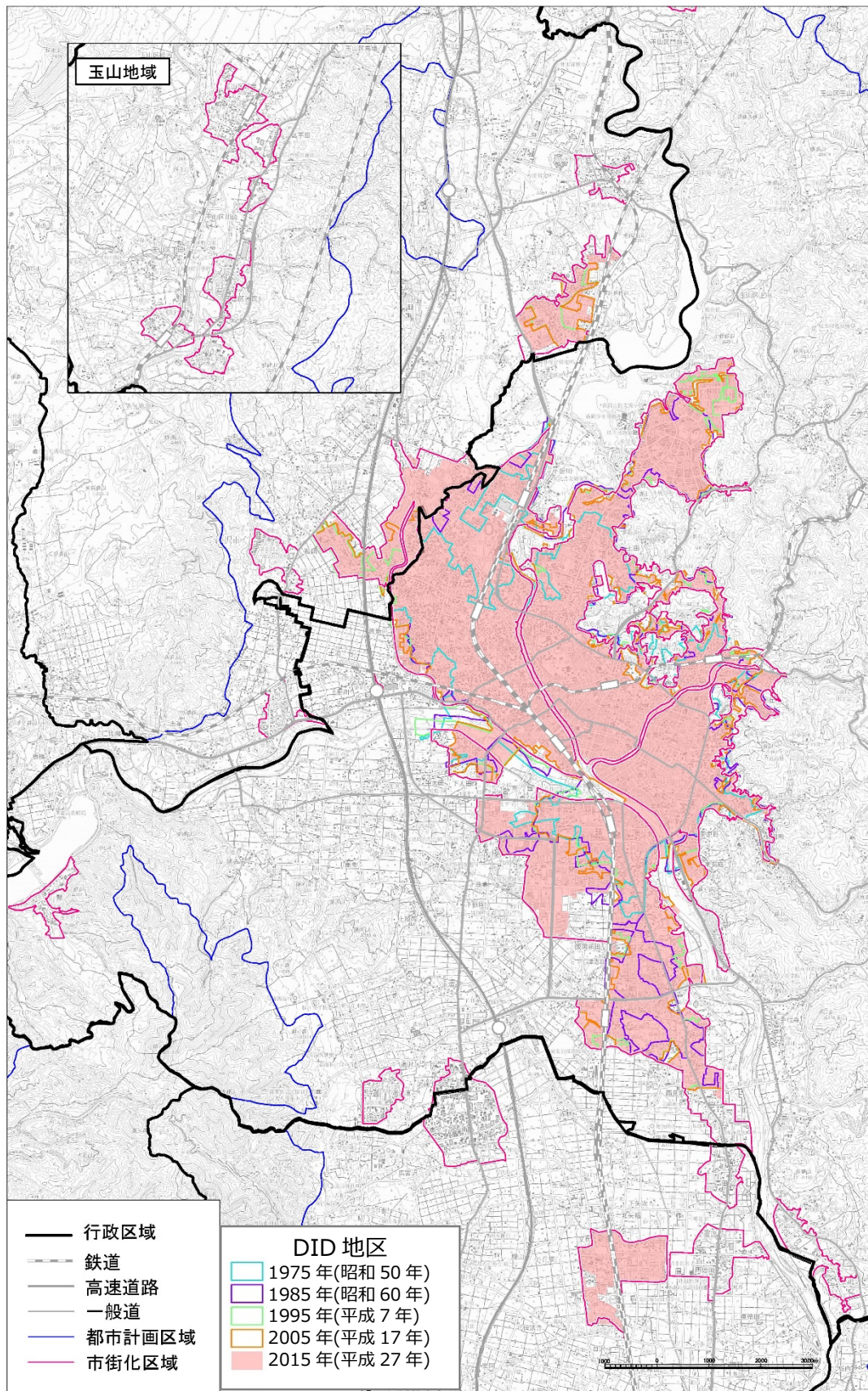
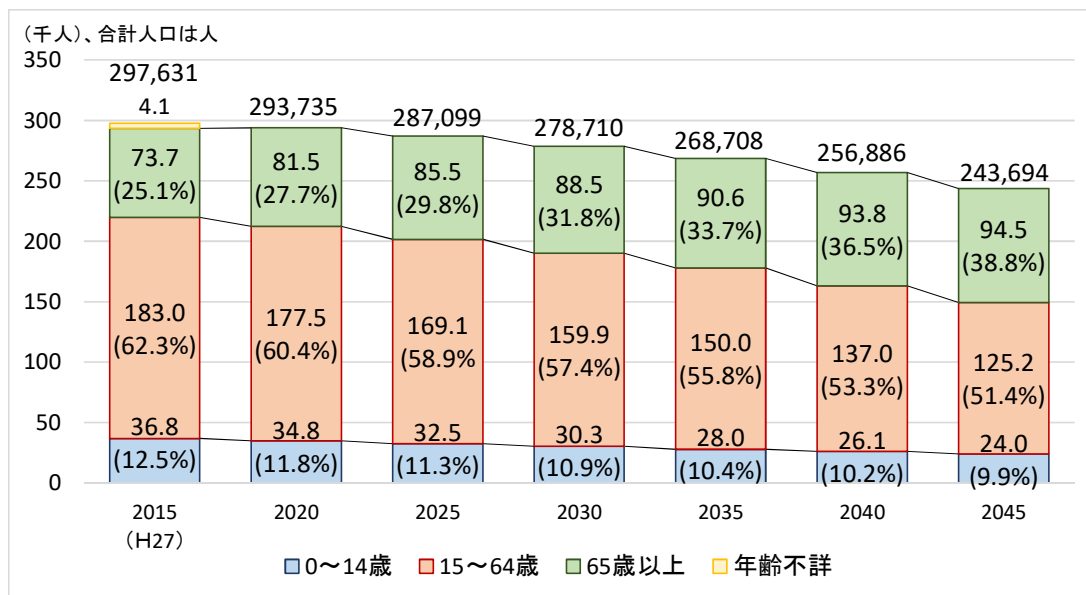


図 3-4 DID 地区の変遷

出典：国土交通省国土数値情報

(3) 将来人口の見通し

- 市の2045年将来人口は、2015年（平成27年）と比較して17.0%減少して243,694人に、高齢化率は2015年（平成27年）の25.1%から38.8%に上昇すると予測されています。
- 2015年と2035年の人口を比較すると、総人口が28.9千人減って268.7千人になり、市街化区域内の人口も19.8千人減って237.7千人になりますが、市街化区域の人口割合は、86.5%から88.4%に1.9%増加すると想定されています。



※2015年（平成27年）の年齢階層別構成比は、年齢不詳を除いた人口（293,536人）に対する比率

図 3-5 人口・年齢階層別構成比の推移（予測）

出典：平成27年国勢調査（年齢不詳を含む）

2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」

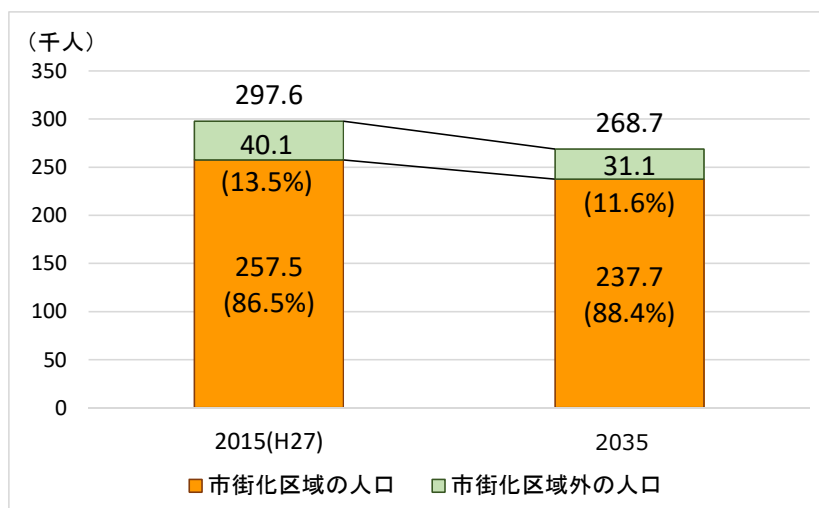


図 3-6 市街化区域と市街化区域外の人口構成比

出典：平成27年国勢調査（年齢不詳を含む）

2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」

(4) 将来人口分布の見通し

○ 2015年(平成27年)には、盛岡駅周辺の中心部、青山、みたけ・厨川、仙北などにおいて密度が高い地区がみられます。

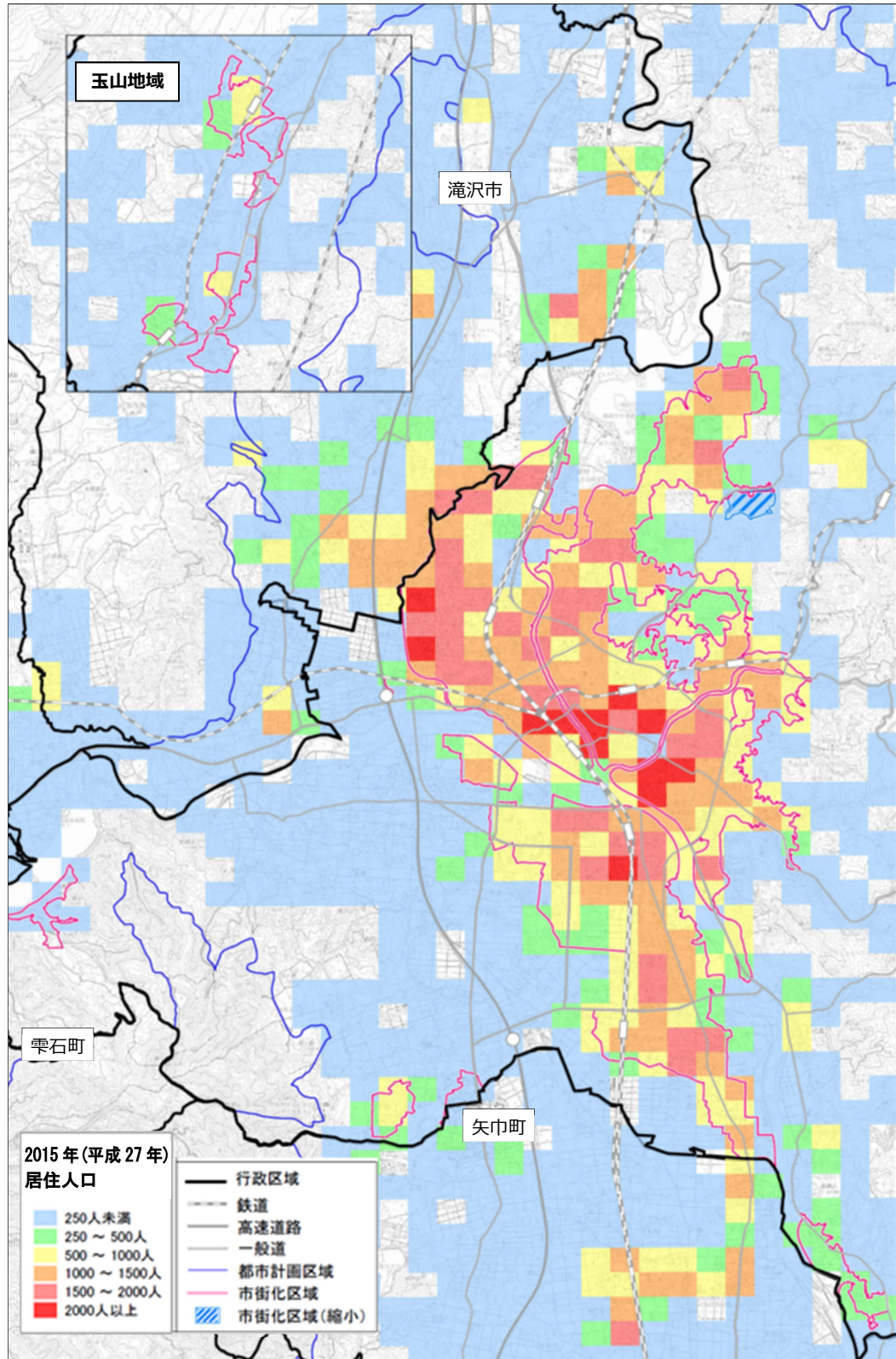


図 3-7 現況の人口分布 (2015年(平成27年))

出典:平成27年国勢調査

○2035年には、2015年（平成27年）に比べて多くの地区で人口が減少する一方、盛南地区などの市街地開発事業が実施されている地区や近年宅地開発などが行われた地区で増加が見込まれています。

○特に盛岡駅～盛岡バスセンター間の中心部や松園、青山などにおいて、減少が見込まれ、中心市街地の低密度化が進むと予想されています。

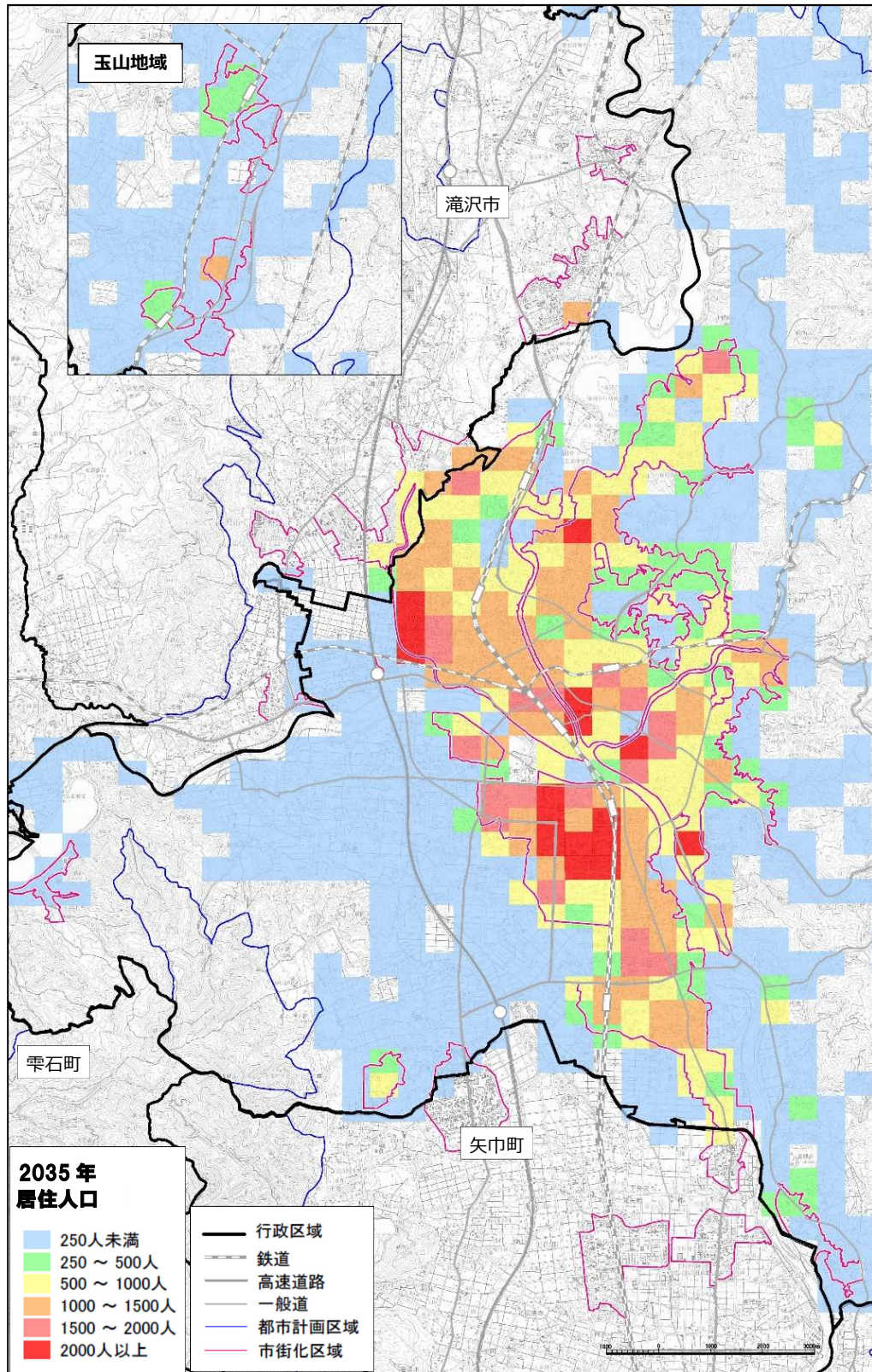


図 3-8 将来の人口分布（2035年将来予測値）

出典：平成29年度盛岡市立地適正化計画策定基礎調査

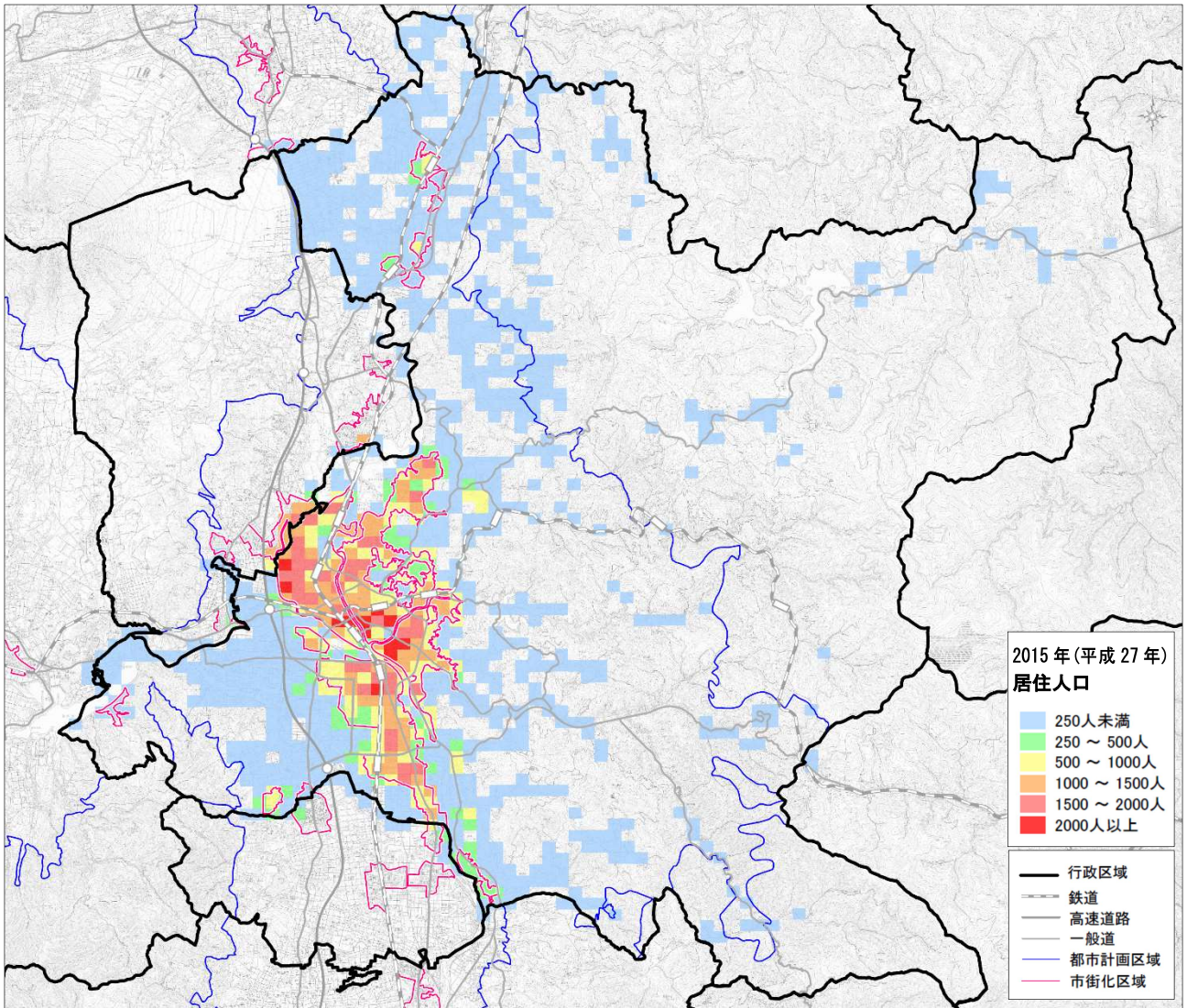


図 3-9 現況の人口分布 市全域 (2015年(平成27年))

出典:平成27年国勢調査

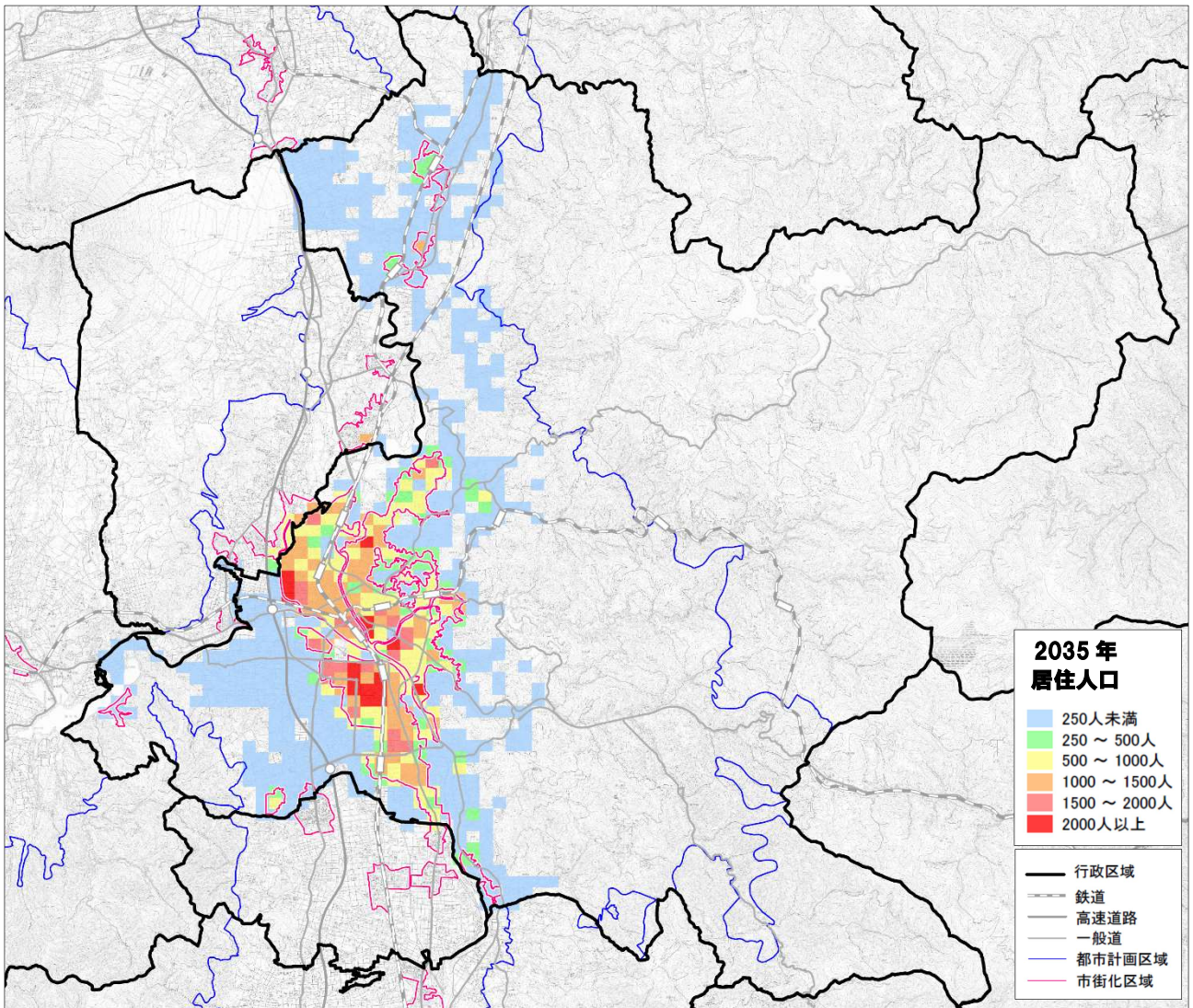


図 3-10 将来の人口分布 市全域 (2035年将来予測値)

出典:平成 29 年度盛岡市立地適正化計画策定基礎調査

(5) 主な施設の立地状況

- 教育機関・医療施設・商業施設などの主要な施設については、盛岡駅～盛岡バスセンター間に集中しています。
- 一部の社会福祉施設などを除き、主要な施設は、公共交通利用圏内に立地しており、公共交通を使ってアクセスすることができます。

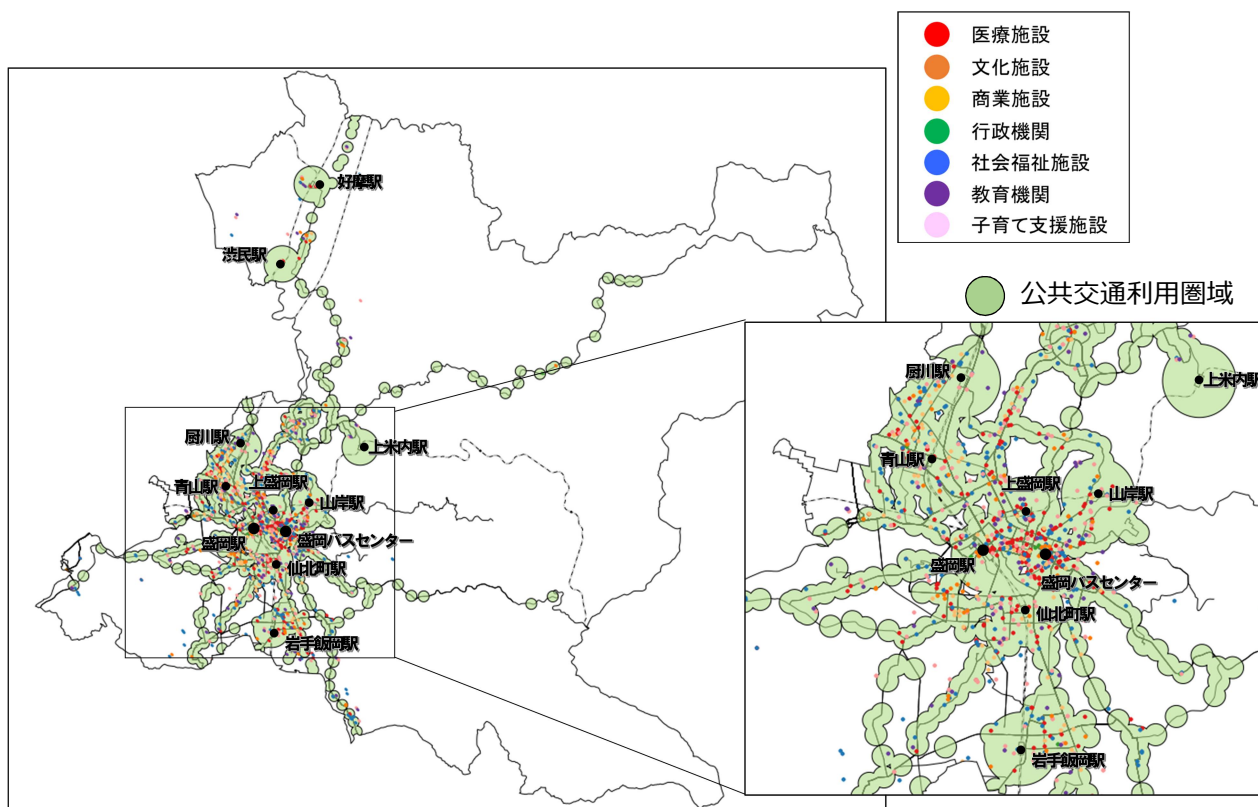


図 3-11 主な施設の立地状況と公共交通利用圏域

(6) 観光客の状況

- 観光客入込数は、近年約 500 万人回程度で推移しています。
- 市内へは、県内をはじめ、東北各県のほか、関東方面からの観光客も多く来訪しています。
- 外国人観光客（宿泊した外国人）数は近年急激に増加を続けており、2016 年（平成 28 年）には年間約 24,000 人で、2012 年（平成 24 年）と比較して約 5 倍となっています。
- 観光客が市内で利用する移動手段としては、約半数がバス・鉄道を利用しています。

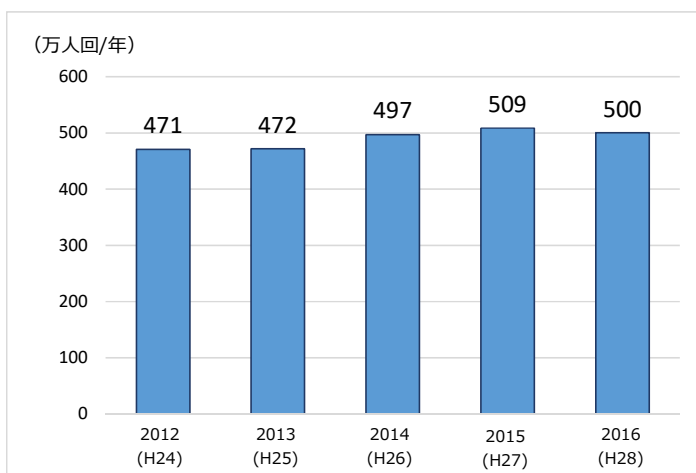


図 3-12 年間観光客入込数の推移

出典：盛岡市

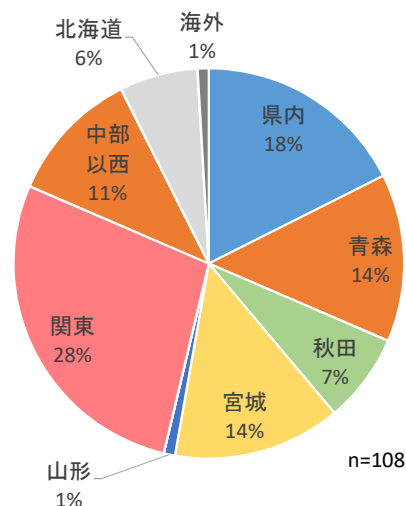


図 3-13 方面別の来訪者割合

出典：H30 年度来訪者アンケート調査
※観光目的での来訪者を対象に集計

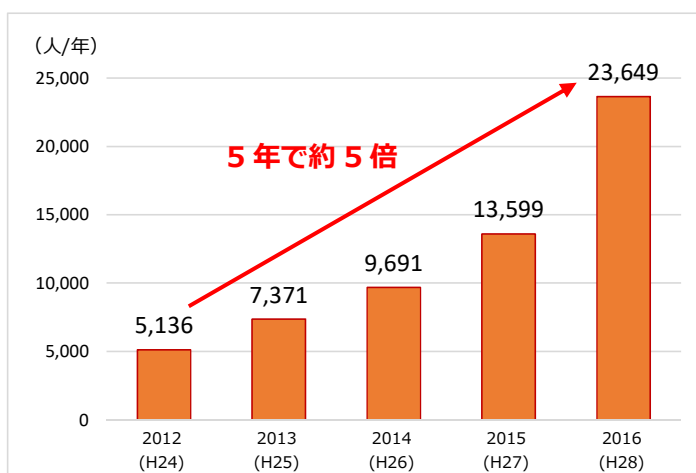


図 3-14 年間外国人宿泊者数推移

出典：盛岡市

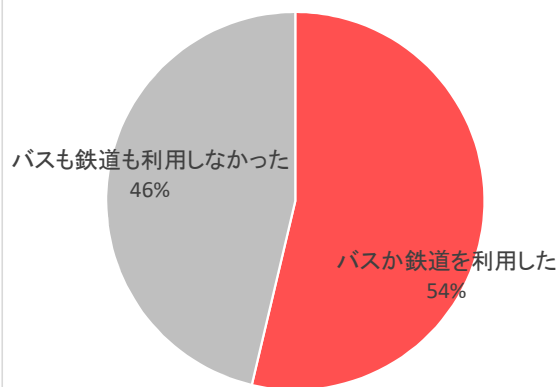


図 3-15 観光客の市内の移動手段

盛岡市に観光で訪れた方 N=108

出典：H30 年度来訪者アンケート調査

3.2 地域公共交通の状況

(1) 鉄道の状況

1) 鉄道と鉄道駅の配置状況

- 市内には2つの新幹線（東北新幹線、秋田新幹線）と、5つの在来線（JR 東北本線、JR 山田線、JR 田沢湖線、JR 花輪線、IGR 線）があり、全部で10の駅があります。
- JR 東北本線・IGR 線の南北方向の路線では比較的運行本数が多く、JR 山田線、JR 田沢湖線の東西方向の路線では、運行本数は少なくなっています。

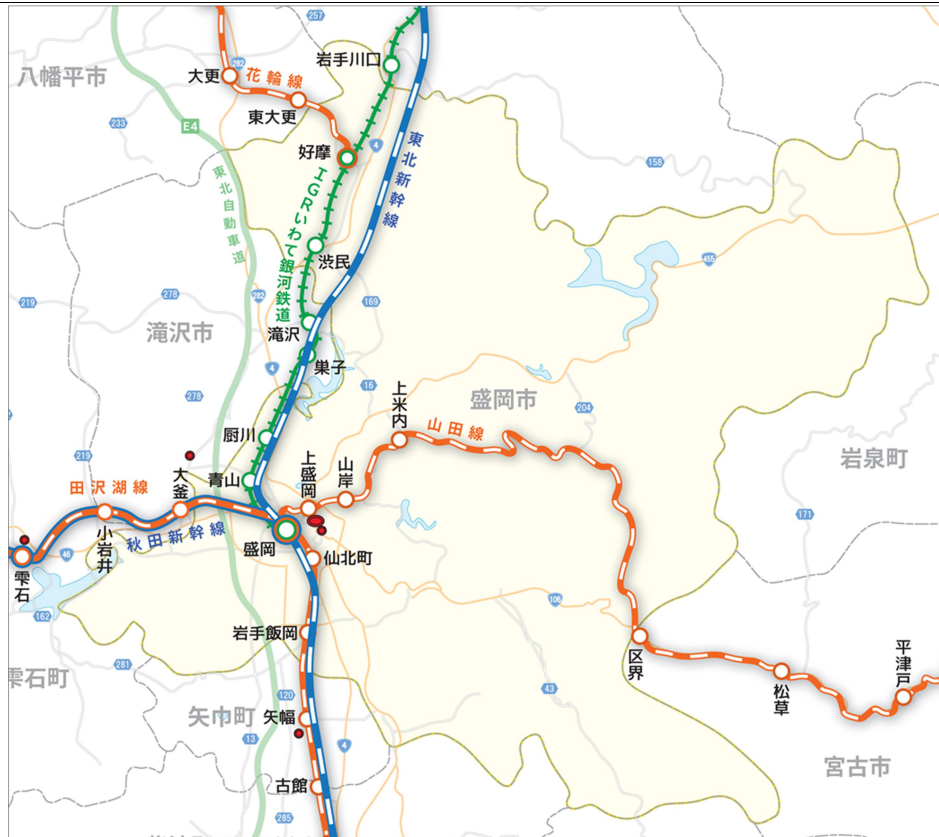


図 3-16 鉄道と鉄道駅

表 3-1 在来線鉄道駅別 平日運行本数（本/日） ※盛岡駅を除く

路線名	駅名	盛岡駅方面行き	盛岡駅と 反対方面行き
JR 東北本線	岩手飯岡	37	37
	仙北町	38	37
JR 山田線	上盛岡	6	6
	山岸	6	6
	上米内	6	4
JR 田沢湖線	大釜	12	13
	小岩井	12	13
JR 花輪線	好摩	8	8
IGR 線	青山	39	42
	厨川	39	42
	渋民	36	36
	好摩	36	35

2) 鉄道駅の利用者数

- 市内の鉄道利用者数は近年横ばいとなっています。
- 盛岡駅以外は定期利用者が約 7 割を超えますが、盛岡駅においては約半数程度となっています。これは盛岡駅には市外や県外からの来訪者が多いためと考えられます。

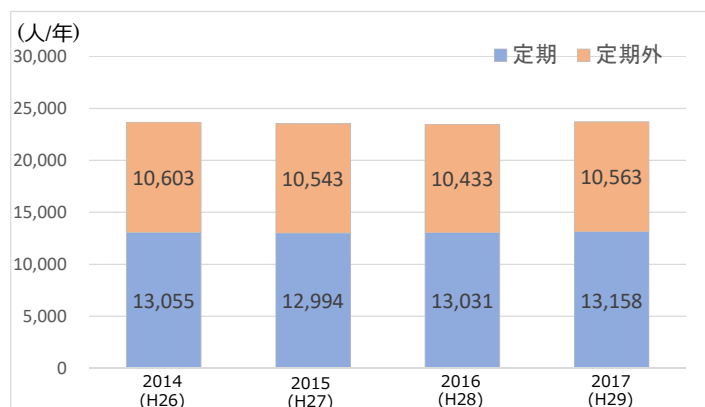


図 3-17 盛岡駅 (JR、IGR の合計) の 1 日平均乗車人数の推移

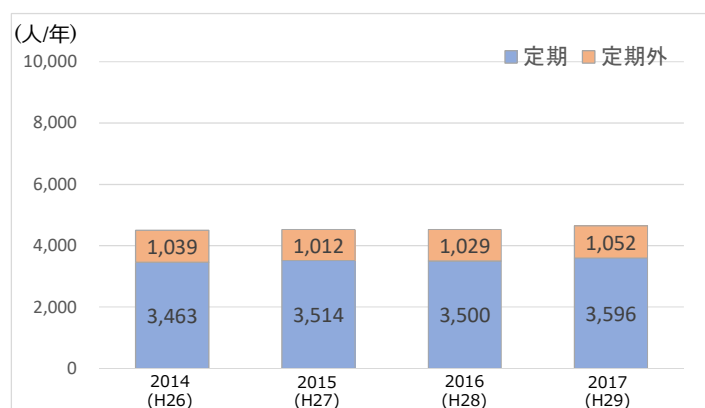


図 3-18 JR 駅の 1 日平均乗車人数の推移

※岩手飯岡駅、仙北町駅、上米内駅、好摩駅（その他駅はデータ無し）

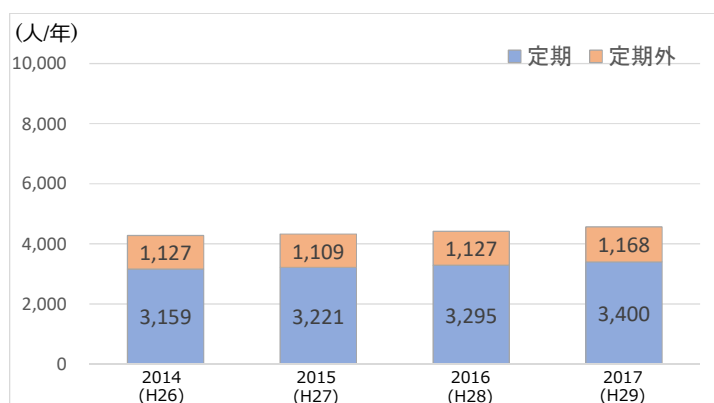


図 3-19 IGR 駅の 1 日平均乗車人数の推移

※青山駅、厨川駅、渋民駅、好摩駅

出典：JR 東日本 HP(乗車人員)、IGR HP(公表されている乗降人員を 2 で除した値)

表 3-2 市及び周辺市町の鉄道駅別利用者数の推移

(単位：人/日)

路線名	駅名	市町村	2014(H26)		2015(H7)		2016(H28)		2017(H29)		
			定期	定期外	定期	定期外	定期	定期外	定期	定期外	
JR	東北本線	矢幅	矢巾町	2,307	611	2,326	625	2,320	637	2,379	646
		岩手飯岡	盛岡市	1,817	546	1,849	541	1,836	545	1,843	547
		仙北町	盛岡市	1,158	355	1,167	349	1,201	368	1,299	389
	山田線	上盛岡	盛岡市	-	-	-	-	-	-	-	-
		山岸	盛岡市	-	-	-	-	-	-	-	-
		上米内	盛岡市	57	18	59	17	56	17	46	16
		区界	宮古市	0	1	1	0	1	0	1	0
	田沢湖線	大釜	滝沢市	412	84	398	85	387	83	384	84
		小岩井	滝沢市	411	80	412	83	386	81	381	80
	花輪線	好摩	盛岡市	431	120	439	105	407	99	408	100
		盛岡	盛岡市	8,961	8,882	8,970	8,914	8,884	8,894	8,960	8,997
	IGR いわて 銀河 鉄道線	青山	盛岡市	1,045	459	1,078	453	1,099	474	1,175	506
		厨川	盛岡市	1,115	331	1,151	333	1,225	343	1,237	350
巢子		滝沢市	365	151	342	156	339	157	358	158	
滝沢		滝沢市	1,248	309	1,229	319	1,244	308	1,268	298	
渋民		盛岡市	246	84	246	85	255	81	270	81	
好摩		盛岡市	754	253	747	240	717	229	718	233	
岩手川口		岩手町	106	33	113	35	116	34	109	30	
盛岡		盛岡市	4,094	1,721	4,024	1,629	4,147	1,539	4,198	1,566	

出典：JR 東日本 HP(乗車人員)、IGR HP(公表されている乗降人員を2で除した値)

(2) バスの状況

1) バス路線網

- 市内の路線バスは、岩手県交通・岩手県北バス・JRバス東北の3社が、盛岡駅・盛岡バスセンターを起終点として放射状に各方面へ向かう路線や中心部を循環する路線などを運行しています。
- 中心部には多くの路線が乗り入れており、運行本数も多く、利便性が高くなっています。
- 大半の路線の起終点が盛岡駅・盛岡バスセンターとなっているため、地域間を移動する場合には、一度中心部へ向かう必要があり、拠点同士の連絡性が弱い状況にあります。

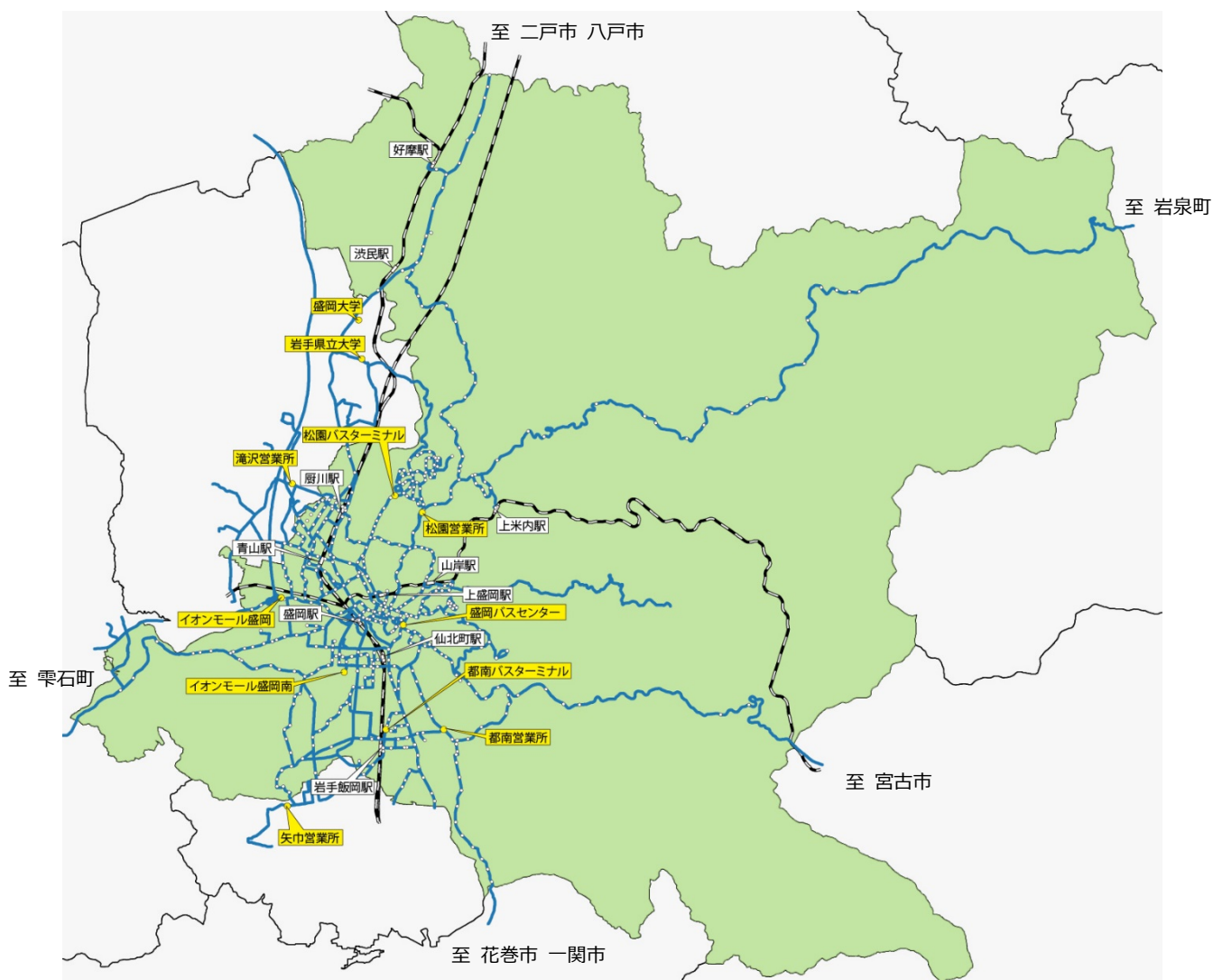
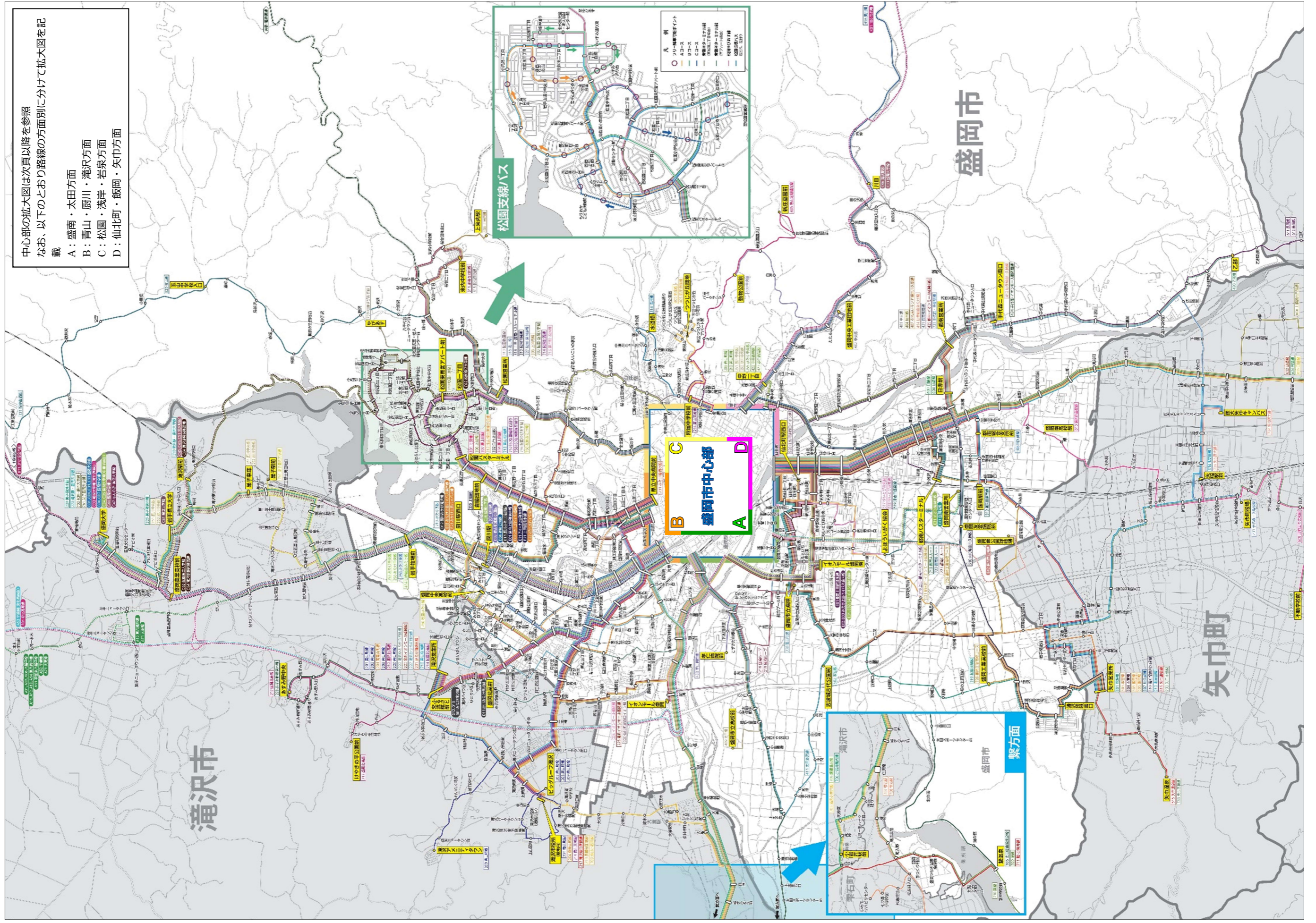


図 3-20 バス路線網

※このページは白紙です。



中心部の拡大図は次頁以降を参照
なお、以下のとおり路線の方面別に付けて拡大図を記
載

A: 盛南・太田方面
B: 青山・厨川・滝沢方面
C: 松園・浅岸・岩泉方面
D: 仙北町・飯岡・矢野方面

図 3-21 バス路線網

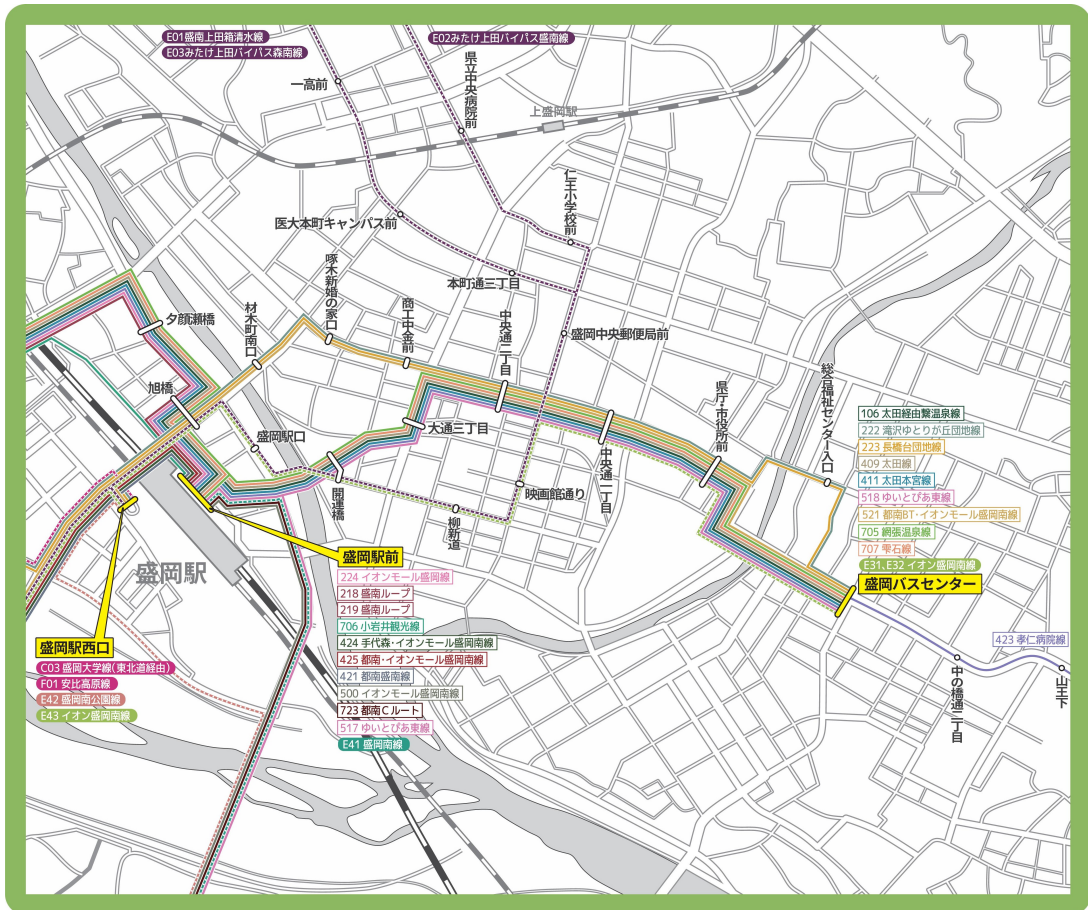


図 3-22 バス路線網 (A : 盛南・太田方面への路線)

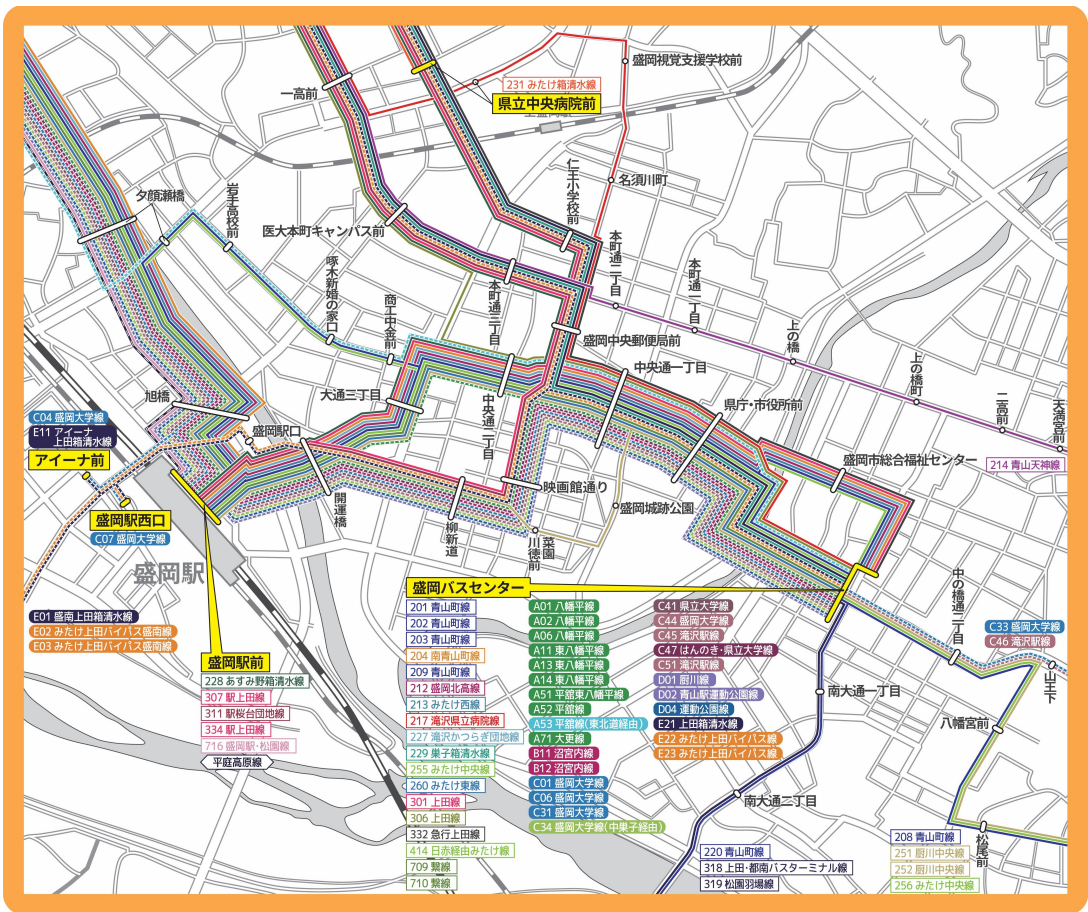


図 3-23 バス路線網 (B : 青山・厨川・滝沢方面への路線)

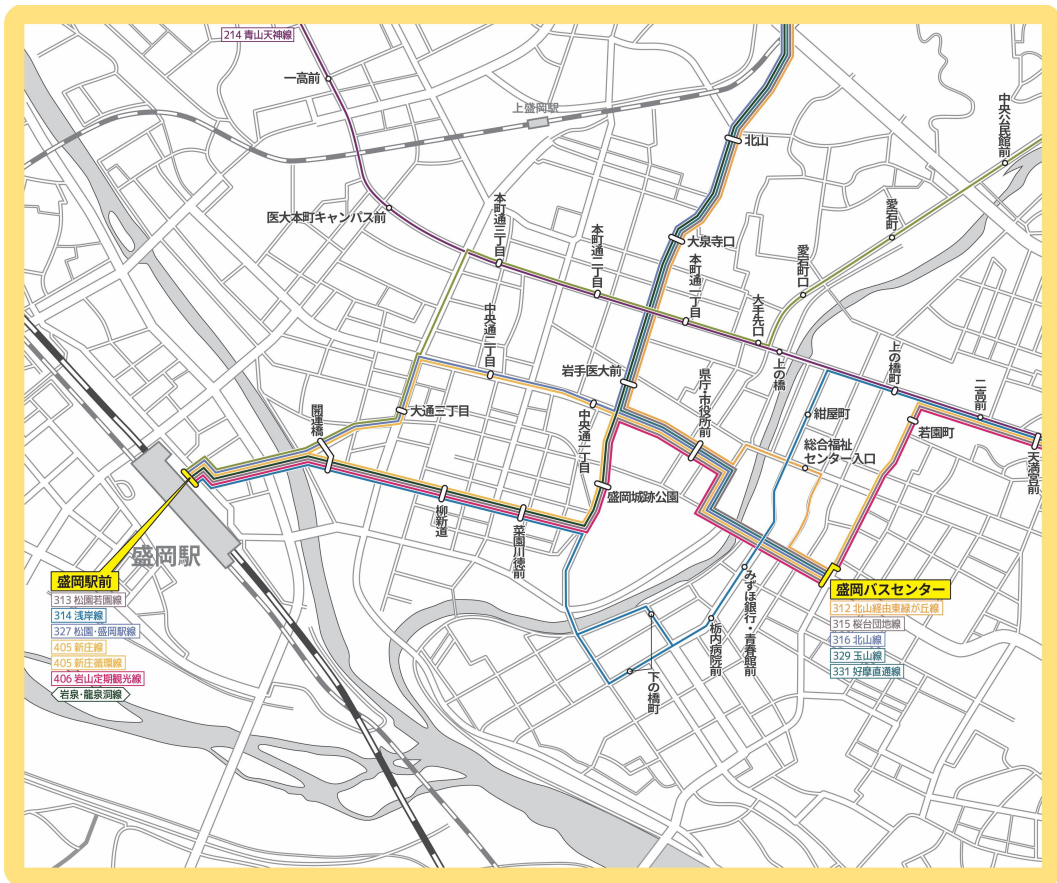


図 3-24 バス路線網 (C : 松園・浅岸・岩泉方面への路線)

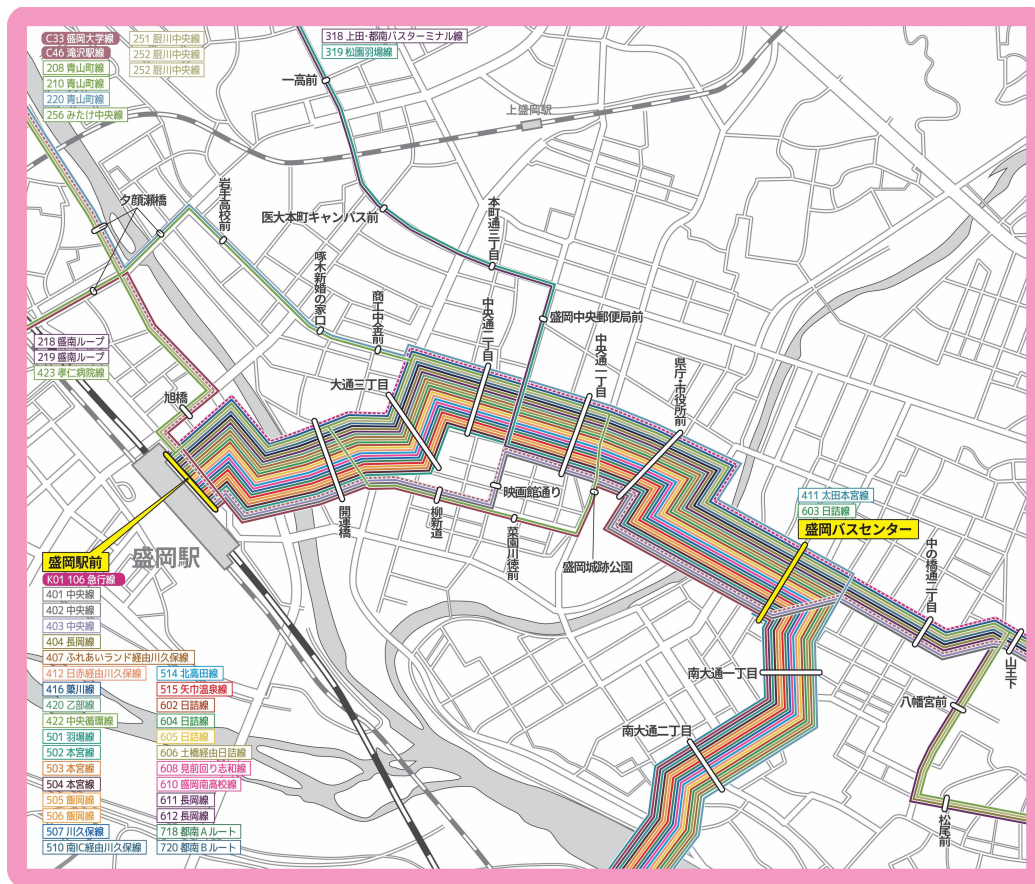


図 3-25 バス路線網 (D : 仙北町・飯岡・矢巾方面への路線)

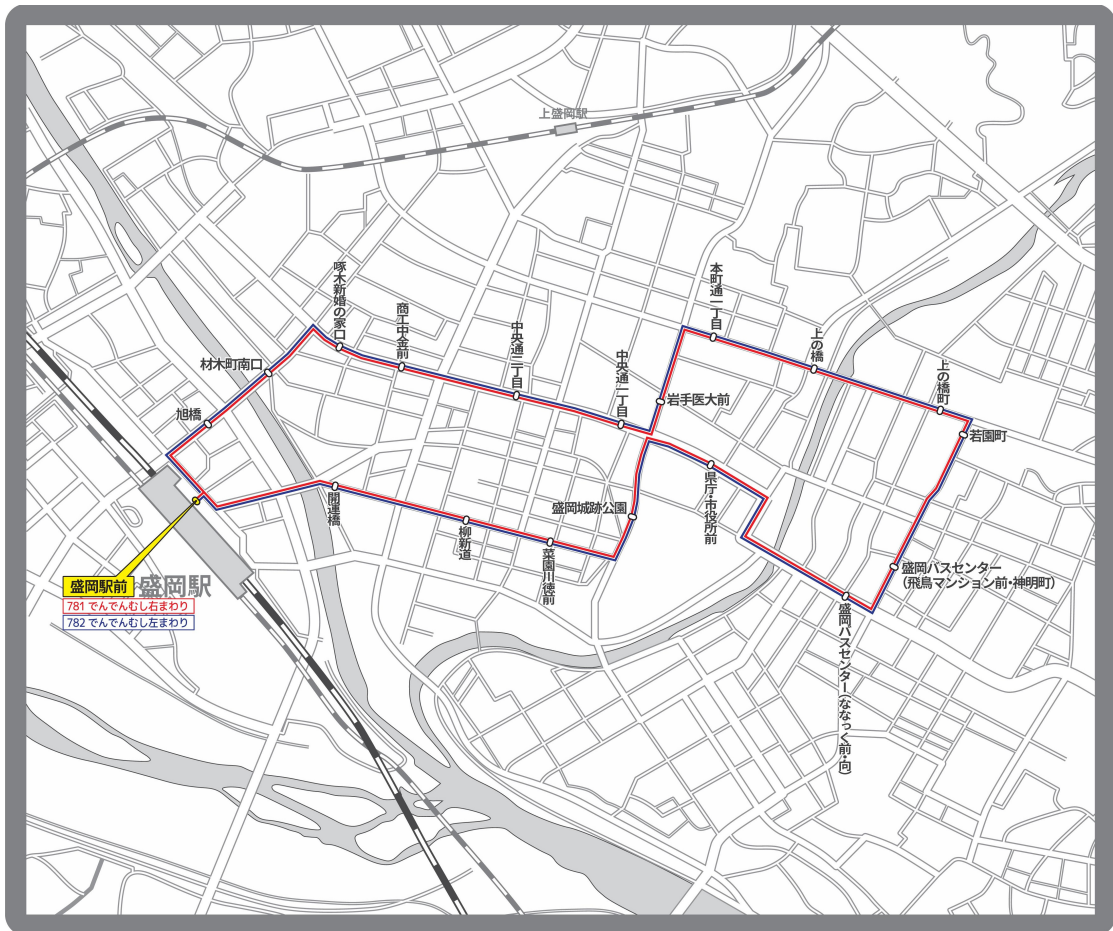


図 3-26 バス路線網 (中心部 でんでんむし)

2) バス路線の運行頻度

- 市内には 179 系統、平日 1 日に 2,557 本の路線バスが運行されています。
- 市内で運行を完結する系統が 91 系統、隣接市町などを結ぶ広域系統は 88 系統あります。
- 多くのバスが運行していますが、1 日の往復合計運行本数が 24 本[※]以下の系統が約 86%を占めています。

※運行頻度の目安：1日12時間の運行と仮定すると、平均して1時間あたり1往復の運行頻度

表 3-3 事業者別 総系統数・総運行本数

	単位	岩手県交通	岩手県北バス	JRバス東北	全体
系統数	系統	126	51	2	179
総運行本数(平日)	本	2,228	311	18	2,557
総運行本数(休日)	本	1,584	225	18	1,827

表 3-4 事業者別 市内完結路線・隣接市町間広域系統数

	単位	岩手県交通	岩手県北バス	JRバス東北	全体
市内完結系統数	系統	71	20	0	91
隣接市町間広域系統数	系統	55	31	2	88

表 3-5 事業者別 運行頻度別系統数

	単位	岩手県交通		岩手県北バス		JRバス東北		全体	
121本以上	系統	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
73本以上120本以下	系統	2	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%
61本以上72本以下	系統	3	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.7%
49本以上60本以下	系統	6	4.8%	1	2.0%	0	0.0%	7	3.9%
25本以上48本以下	系統	11	8.7%	2	3.9%	0	0.0%	13	7.3%
13本以上24本以下	系統	28	22.2%	2	3.9%	0	0.0%	30	16.8%
4本以上12本以下	系統	50	39.7%	17	33.3%	2	100.0%	69	38.5%
3本以下	系統	25	19.8%	29	56.9%	0	0.0%	54	30.2%

※系統数・本数は平成 30 年 10 月 1 日現在

3) バスの年間利用状況

- 2017年度（平成29年度）、市内で運行する179系統のバス路線の輸送人員は約1,640万人です。これは、市民1人あたり年に約57回利用していることとなります。
- バス輸送人員は、1992年（平成4年）の都南村合併・2006年（平成18年）の玉山村合併時を除くと、人口に大きな変動がないにもかかわらず、平成初期と比較すると大きく減少しています。
- ただし、平成初期から続いていた減少傾向は、オムニバスタウン計画策定後の2000年（平成12年）頃を境に下げ止まり、近年はおでかけバスの効果もあり、やや増加傾向に転じています。

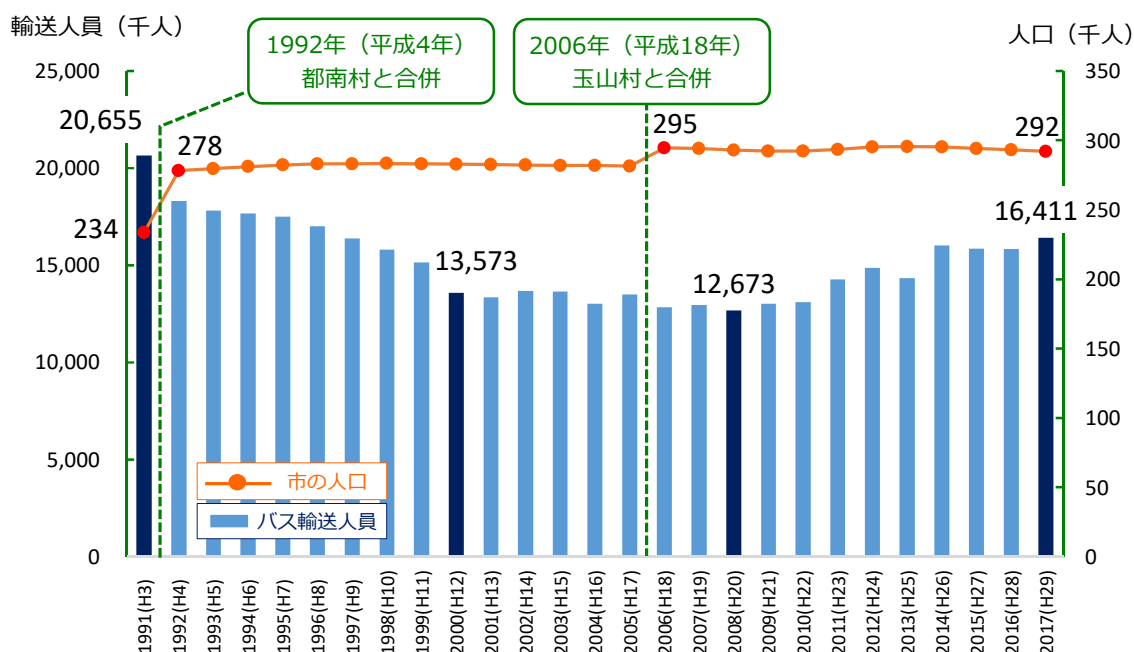


図 3-27 人口とバス輸送人員の推移

出典：住民基本台帳（各年9月末日）、盛岡市

表 3-6 バスの利用状況（2017年度（平成29年度）実績）

項目	数値
①走行キロ ・輸送のために運行したキロ数の総合計	11,950,494 km
②輸送人員 ・①の運行で輸送した人員の総合計（総利用者数）	16,410,628 人
③市民一人当たりで換算した年間利用回数 ・②÷290,456人（H30 住民基本台帳）	56.5 回/人
④輸送人キロ ・利用者一人あたりの平均乗車距離×輸送人員の総合計	71,831,581 人・km
⑤平均乗客数 ・④÷①	6.0 人

※上記は、市内で完結する91系統、隣接市町などを結ぶ広域的な88系統の合計（都市間高速バスは含まない）

出典：岩手県交通、岩手県北バス、JRバス東北資料

4) バス利用区間の特性

- 市のバス路線は、各方面から中心市街地を經由し、中心市街地の東西両端のバスターミナル機能を持つ盛岡駅・盛岡バスセンターにアクセスする形で運行されているため、中心市街地においては、運行本数が多く利便性が高くなっています。
- 一方で、多くの路線が盛岡駅～盛岡バスセンター間で重複するため、通過人数に対してバスの輸送容量が過大となっている状況が見受けられます。

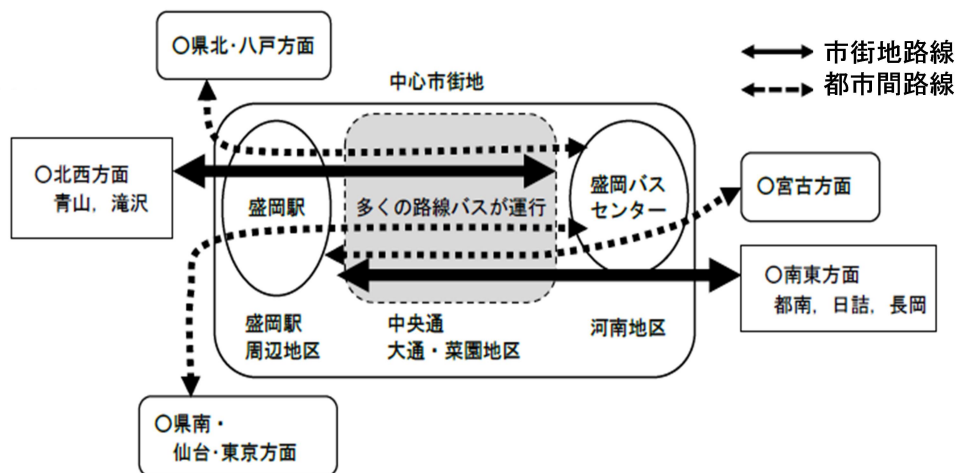
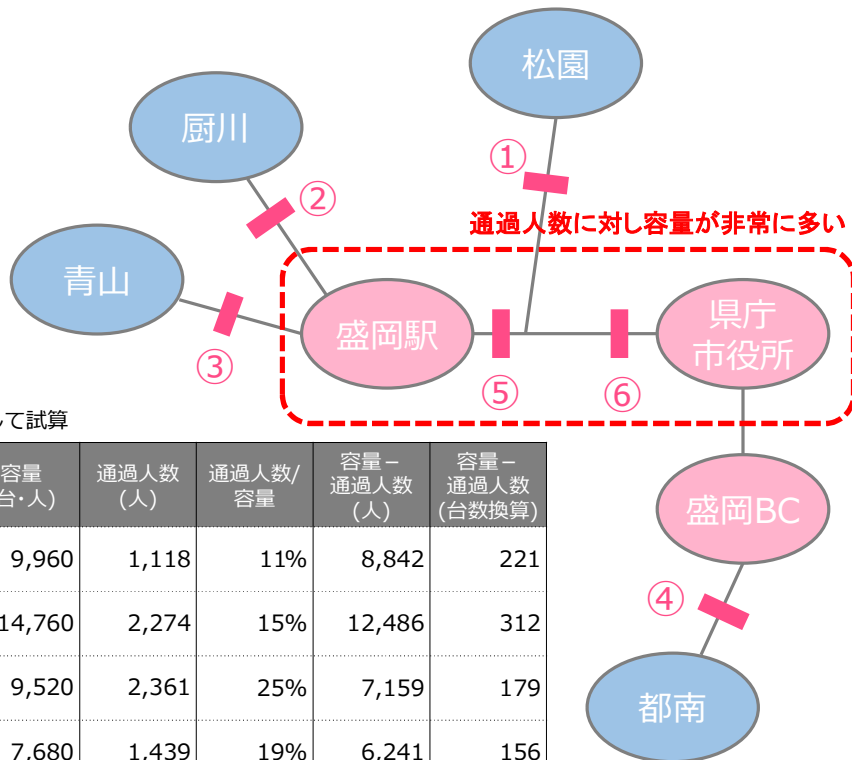


図 3-28 中心市街地のバス交通概念図

出典：(仮称)新盛岡バスセンター整備事業基本方針(H30.9)



※バス1台当たりの輸送力を40人と仮定して試算

断面	容量 (台・人)	通過人数 (人)	通過人数/ 容量	容量－ 通過人数 (人)	容量－ 通過人数 (台数換算)
①松園方面 (岩脇団地前～東黒石野間)	9,960	1,118	11%	8,842	221
②厨川方面 (厨川駅前～厨川一丁目、三馬橋間)	14,760	2,274	15%	12,486	312
③青山方面 (県営体育館前～青山駅、厨川中学校前間)	9,520	2,361	25%	7,159	179
④都南方面 (川久保～北川久保、南仙北一丁目間)	7,680	1,439	19%	6,241	156
⑤盛岡駅前 (開運橋)	57,280	9,052	16%	48,228	1,206
⑥県庁・市役所前	53,760	6,700	13%	47,060	1,176

※調査対象路線のみのデータで、でんでんむしを含んでいない

図 3-29 主要断面における容量に対する通過人数

出典：各バス事業者乗降調査結果(岩手県交通:2014(H26)調査、岩手県北バス:2017(H29)調査、JRバス東北:2017(H29)調査)

- 中心部から放射状に伸びるバス路線の中には、路線延長（営業キロ）の長い路線があり、これらの路線では、利用者の少ない区間もみられます。
- 盛岡駅と盛岡バスセンターの両方を通るバス路線では、多くの利用客が途中の盛岡駅や盛岡バスセンターで降車するとともに、一定の乗車も見られることから、盛岡駅や盛岡バスセンターを境に利用者特性が変わると考えられます。



図 3-30 盛岡駅・盛岡バスセンターの両方を通る路線の区間別利用者数

出典: 各バス事業者乗降調査結果(岩手県交通:2014(H26)調査、岩手県北バス:2017(H29)調査)

5) 補助対象バス路線の状況

- 国・県の補助金交付対象の複数市町にまたがる路線（22 路線・系統）では、2017 年度（平成 29 年度）実績で約 3 億 1 千万円の赤字となっており、約 2 億 3 千万円の補助金で補てんしている状況です。国・県の補助金による補てんは、近年、約 2 億円から 2 億 4 千万円程度で推移しています。
- 県・市の補助金交付対象の複数市町にまたがる路線（6 路線・系統）では、2017 年度（平成 29 年度）実績で約 2,300 万円の赤字となっており、県と沿線市町[※]で約 1,740 万円の補助金で補てんしている状況です。市は 2017 年度（平成 29 年度）に約 60 万円、近年は約 100 万円程度を支出しています。

※沿線市町：盛岡市、滝沢市、紫波町、雫石町、西和賀町、岩手町

表 3-7 補助対象路線の状況（2017 年度（平成 29 年度）実績）

（単位:円）	運行費用	運賃収入	収 支 （収入-費用）	補助額
国・県の補助対象路線	782,502,696	473,188,761	-309,313,935	232,914,000
県・市の補助対象路線 ^{※1}	39,444,052	16,851,223	-22,592,829	17,402,000

※1：複数市町にまたがる路線（6 路線・系統）全体の費用や収入

出典：盛岡市

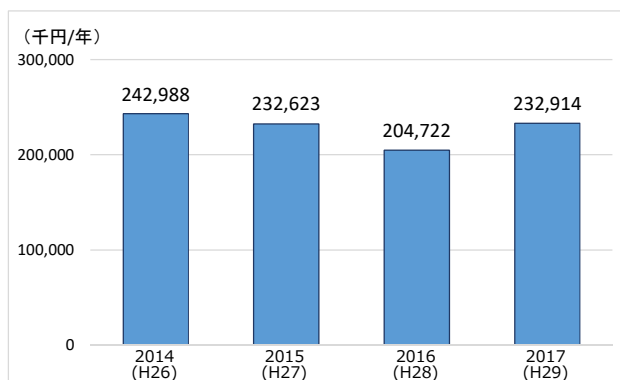


図 3-31 国・県の補助対象路線の補助額の推移（盛岡市関連路線）

出典：盛岡市

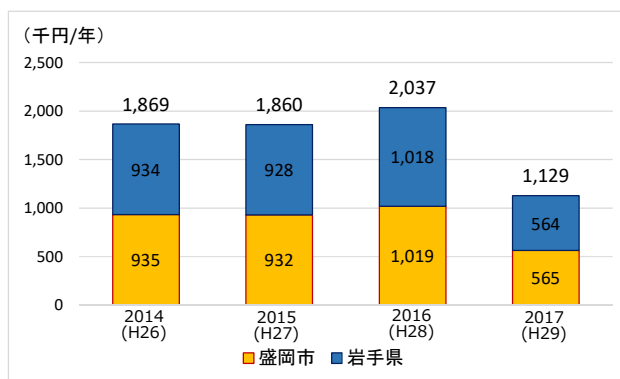


図 3-32 県・市の補助対象路線の盛岡市負担額の推移（盛岡市関連路線）^{※2}

※2：表 3-7 の県・市の補助対象路線^{※1}の内、盛岡市負担額と当該の県負担額のみを集計（他沿線市町の負担分は除いたもの）

出典：盛岡市

6) バス事業への行政支援

○ 市では、公共交通利用促進の施策として、市内在住の70歳以上の方を対象に、まちなか・おでかけパス事業を実施しています。市は、まちなか・おでかけパス1枚あたり5,000円をバス事業者に補助し、年間5,070万円（2017年度（平成29年度））を支出しています。

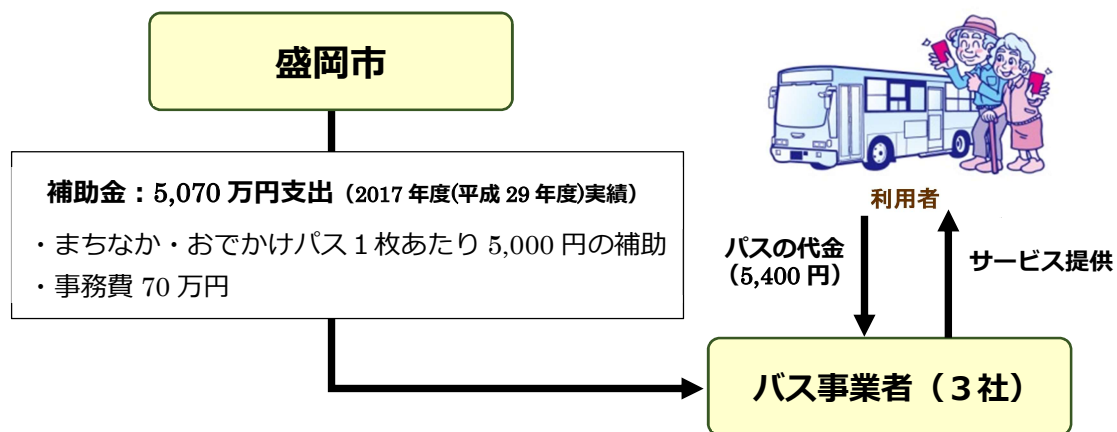


図 3-33 まちなか・おでかけパスの補助金の仕組み

出典：盛岡市

(3) タクシーの状況

- 市内には、20 社以上のタクシー事業者がありますが、管轄支部が玉山村との合併前の範囲で分割されています。
- 営業範囲は合併前の支部の範囲であるため、同じ市内でも営業範囲を超えて迎車するなどの営業ができません。
- タクシー利用者は年々減少しており、5年間で 13.5%減少しています。また、それに伴い営業収入も減少傾向となっています。
- ドライバーの平均年齢が高齢化しており、少人数の事業者では将来的に事業継続が困難になることが懸念されます。



・盛岡市と合併したからといっても、基本的には旧営業エリアでの営業(迎車)となる。
 ・今後、ドライバーの高齢化により、事業が成立しなくなる可能性がある。
 ・高齢者割引制度などは、全て事業者負担となっている。
 H30 年度事業者ヒアリング調査

図 3-34 一般社団法人岩手県タクシー協会の支部（営業エリア）

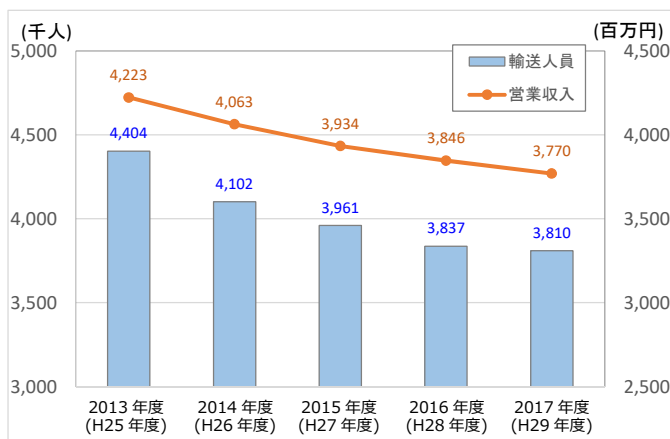


図 3-35 タクシーの輸送人員と営業収入（盛岡支部内）

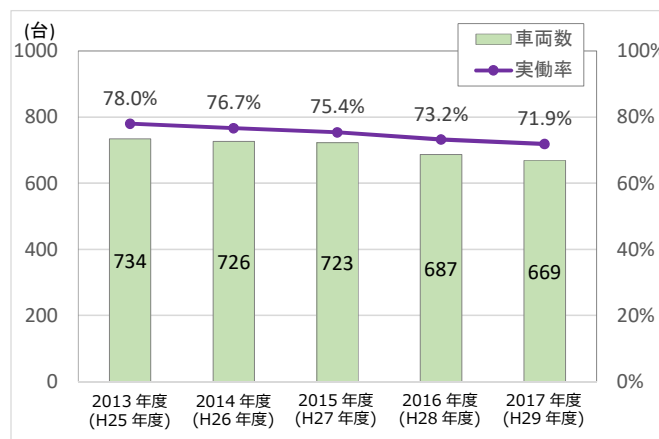


図 3-36 保有車両台数と実働率（盛岡支部内）

出典：H30 年度事業者ヒアリング調査結果

(4) 患者輸送バス・スクールバスの状況

- 玉山、薮川、川目、築川などの地域において、市が「患者輸送バス」「スクールバス」を運行しています。
- 患者輸送バスは週1回運行（一部コースは隔週運行）されています。
- スクールバスは平日の通学・帰宅の時間に合わせて運行されています。

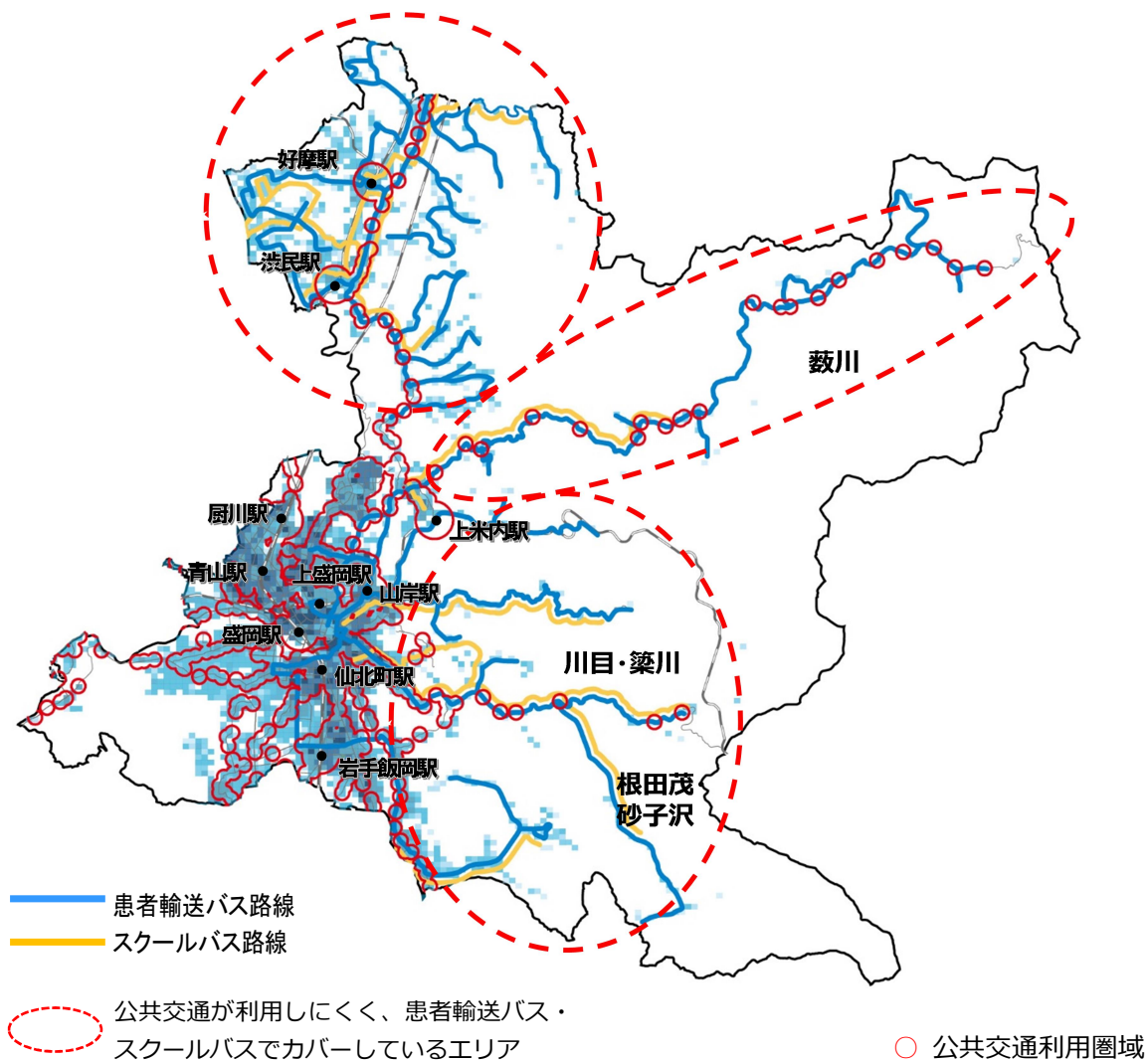


図 3-37 患者輸送バス・スクールバスの運行範囲

出典：平成 27 年国勢調査、バス事業者 HP、市 HP の情報を元に作成

表 3-8 患者輸送バス・スクールバスの利用状況と運行費用（2017 年度（平成 29 年度）実績）

種別	年間利用者数（延べ）	運行費用
患者輸送バス	8,786 人	17,640,687 円
スクールバス	32,888 人	50,389,838 円

出典：盛岡市

表 3-9 患者輸送バス・スクールバスの路線別運行本数・年間利用者数
(2017年度(平成29年度)実績)

	実施場所	運行区間			片道キロ程 (km)	年間利用者数 (人)	運行頻度
		起点	主な経由地	終点			
患者輸送バス	盛岡市(都南地域)	大沢公民館	市立病院	岩手県民会館横	25.0	367	週1回
	盛岡市	飛鳥バス停	高畑公民館	市立病院	30.0	339	隔週
	盛岡市	葛	椿沢団地	市立病院	25.0	324	週1回
	盛岡市	大志田	浄水場前	岩手県民会館横	20.0	573	週1回
	盛岡市	白石地区集会所	内丸病院	岩手医大病院前	18.0	64	隔週
	盛岡市	矢倉バス回転所	八木田児童館	市立病院	25.0	371	週1回
	盛岡市	原沢バスミナル	野尻バス停	市立病院	30.0	407	週1回
	盛岡市(玉山地域)	山屋馬場線・沢目線交差点	山屋・前田地区	ひめかみ病院	30.0	671	週1回
	盛岡市(玉山地域)	玉山永井字永井沢	永井沢地区	ひめかみ病院	34.1	208	週1回
	盛岡市(玉山地域)	山田公民館前	山田・舟田地区	八角医院前	23.0	799	週1回
	盛岡市(玉山地域)	下田字石羽根	生出野・尻志田地区	ひめかみ病院	25.8	580	週1回
	盛岡市(玉山地域)	玉山字才の沢	城内地区	八角医院前	34.2	480	週1回
	盛岡市(玉山地域)	玉山字大平	山谷川目地区	八角医院前	31.1	543	週1回
	盛岡市(玉山地域)	川又公民館前	川又・釘の平地区	八角医院前	39.6	512	週1回
	盛岡市(玉山地域)	砂子沢	姫神地区	ひめかみ病院	51.1	478	週1回
	盛岡市(玉山地域)	薮川字外山	外山地区	岩手医大病院前	36.0	538	週1回
	盛岡市(玉山地域)	新屋敷バス停	町村地区	岩手医大病院前	79.4	649	週1回
	盛岡市(玉山地域)	薮川字日向	岩洞地区	岩手医大病院前	56.1	468	週1回
盛岡市(玉山地域)	玉山馬場字高木	巻堀・西郡地区	ひめかみ病院	65.6	415	週1回	
スクールバス	盛岡市	熊澤	中野小	松尾前(河南中)	24.0	6,341	平日の登校時1便、下校時3便
	盛岡市	飛鳥	中野小	松尾前(河南中)	17.9	2,505	平日の登校時1便、下校時2便
	盛岡市(都南地域)	上大ヶ生	都南東小	乙部中	7.8	7,379	平日の登校時1便、下校時3便
	盛岡市	上小貝沢	山岸小	下小路中	16.0	3,300	平日の登校時1便、下校時2便
	盛岡市(玉山地域)	旧薮川中学校		米内中学校	17.0	408	平日の登校時1便、下校時1便
	盛岡市(玉山地域)	生出		渋民中学校	16.9	5,980	平日の登校時1便、下校時3便
	盛岡市(玉山地域)	姫神		巻堀中学校	13.2	646	平日の登校時1便、下校時2便
	盛岡市(玉山地域)	柴沢	渋民小	好摩幼稚園	32.5	6,329	平日の登校時1便、下校時3便

出典:盛岡市

(5) 企業バスの運行状況

○ 市内では、病院が運行する病院送迎バスや、商業施設が運行する買い物バスなど、企業が運行しているバスがあります。

表 3-10 企業バスの運行状況

企業バスの種類	事業主体
病院送迎バス	・ 松園第一病院 ・ 松園第二病院 ・ 複合ケアセンター松園 ・ 三愛病院 ・ 未来の風せいわ病院
買い物バス	・ いわて生活協同組合
	・ 川徳 ・ イオンモール盛岡
スクールバス	・ 盛岡大学

※2018年（平成30年）現在